

◇ 仏教婦人会連盟東日本大震災支援活動報告

今年も新米の収穫時期を迎え、教区仏教婦人会連盟が単位会から募集した富山県産コシヒカリ八十八袋を宮城県名取市の箱塚桜仮設住宅・愛島東部仮設住宅にお届けした。

この支援活動は、津波により壊滅的な被害を受けた名取市閑上地区にお住まいだった方が避難生活を送る愛島東部仮設住宅、箱塚桜仮設住宅を対象に、教区仏婦独自の活動として行われているもので今年で六回目。

本来であれば十月二十三日・二十四日の両日において執行部が両仮設を訪問し、事前に集会所にお届けしたお米を一軒一軒訪問して配布する予定であったが、大型台風の影響で今回は延期となり、仮設自治会にお米の配布をお願いし、十一月二十九日・三十日に改めて両仮設を訪



問し、聞き取り調査と交流会を行った。

箱塚桜仮設は、今年度末で廃止となり、二〇一八年十二月までに復興支援住宅などに入居が決まっている方は美田園第一仮設に転居し、それ以外の方は愛島東部仮設に転居となるという話であった。

愛島東部仮設は名取市最大の仮設住宅であり、今後は廃止となった小規模仮設の入居者の受け入れ先となり、平成三十一年度末まで存続が決定しているという事であった。現在は四十四世帯が入居されているが、転居が決まっている人も多く、訪問した日も引越し業者のトラックが二台作業中であった。

箱塚桜・愛島東部仮設の皆さんの表情は去年と比べても一様に明るく、少しづつではあっても状況が進みつつあることが希望となっていることをうかがわせた。

しかし、今後の行き先が決まらない方のほとんどは新たにローンを組んで住宅を購入することが難しい高齢の方や病気の方で、また復興支援住宅に入居した場合、仮設のような補助や介助、見回りなどのサポートが受けられなくなることに不安を抱いておられる方もおられ、本来は不自由な仮設住宅ぐらいしが重要なライフラインを担っている面もあり、復興が進む中でもまだまだ問題は山積している

ようであった。

愛島東部仮設の自治会長さんは、今後はどんどん転居が進んで人数も減っては行くが、最後まで残される人がいる以上、代表として最後まで残って仮設の人たちの面倒をみていく、と言われているのが印象的であった。

◇高岡会館報恩講勤修

今年も十一月二十七・二十八日の両日、会館報恩講が営まれ、初日の夕方には教化団体合同によるお初夜「親鸞聖人を語る夕べ」が開催され、約八十名が参加された。

この「語る夕べ」は会館が建てられた二年後の一九九四年から催されているもので、その趣旨として「報恩講の意義を考慮した企画を盛り込み、会館や寺院にこられることの少ない方々（特に青壮年層）への参加呼びかけの機縁とする」ことが目指されている。最初に、宗祖讃仰作法による音楽法要が勤められ、西岡教務所長の導師のもと、正信偈が唱えられると、参拝された方々も一緒にお勤めされる姿が多く見られた。

続いて、「報恩感謝に学ぶ」という講題で高岡龍谷高校教諭の鷺森昭見さん（氷見西組浄善寺住職）の講演が行われた。鷺森教諭は、学校での具体的な取り組みや、「人間学」の授業での子どもたちの反応や意見などを紹介されるなかで、浄土真宗の教えが高校生に具体的にどの様に伝わっているかをお話しされ、参加者は熱心に耳を傾けていた。

今後この「親鸞聖人を語る夕べ」では、伝統的な法座の形態にこだわらない新しい法座のあり方を模索して、社会にある様々な

テーマを取り上げていきたいとしている。

また、翌二十八日には、各組からの法中出勤のもと午前・午後と報恩講が、講社連盟の講員の方々など百六十名の方が参拝されるなか勤められ、磯原孝雄さん（五位組光明寺）が「私を明らかにする教え」とのご講題でご法話をされた。

両日のお斎接待には、教区の寺院女性会及び仏教婦人会の皆さまのご協力をいただきました。ありがとうございました。

仏婦ダーナ募金のご報告

教区仏婦連盟では、今年のダーナ募金の集金を12月4日（月）に行い、549,562円ものご寄付がありました。ありがとうございました。

ご協力くださったみなさまに重ねて厚く御礼申し上げます。

合 掌



◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

第二回「御同朋の社会をめざす運動」

中央委員会報告

十一月三十日、本願寺伝道本部二階研修室において、二〇一七年度第二回「御同朋の社会をめざす運動」中央委員会が開催されました。

中央委員会は、宗務機関、宗門関係団体、教区・特区委員会を代表する五十名以内の委員で組織され、実践運動の総合計画及び年度ごとの重点プロジェクト推進計画を含む実践運動全体の成果を点検・総括し、また、「意見具申」及び一般社会の諸課題について協議することが主な所掌事項とされています。

はじめに、宗門総合振興計画ならびに「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)・重点プロジェクトの推進状況について報告があり、続いて、『御同朋の社会をめざす運動』(実践運動)総合基本計画・重点プロジェクト改定、「意見具申」について協議がなされました。最後に、「子どもの貧困について」をテーマに特別講義がありました。

協議の中心は、伝灯奉告法要のご消息披露総局巡回に併せて全教区で開催された「公聴会」、また各教区委員会より提出された意見集約をもとに現在策定中の『実践運動総合基本計画・重点プロジェクト』改定案についてでした。改定案には、来年度より「貧困問題の克服に取り組む子どもたちの貧困を中心とする」を宗門の重点プロジェクト「実践目標」に定めることが明記されています。

委員からは、『平和に関する論点整理』をテーマとした公聴会の意見集約を受けての『平和貢献策』として貧困問題に取り組むとのことだが、非戦平和への取り組みは、直接的には『戦争』を視野に

入れたものでなければならぬはず。宗門として貧困問題に取り組む根拠を納得できる形で示してほしい」、「今の政治や国のあり方に対して立場を示せない教団は真俗二諦の課題をいまだ抱えたままである。そういう教団が貧困問題にどのようなスタンスで関わることができるのか」、「宗門の実践目標に掲げたとしても、それを全教区・全組でも取り組めというのは運動の押しつけではないか。組重点プロジェクト推進助成金の交付申請(実施報告)が四割程度にしかなかったのは、中央の運動の進め方が教区・組の現場と乖離していることの現れとも言える。教区・組の運動の主体性を失わせ、混乱を招き、士気を低下させるような中央のあり方を見直してほしい」などの意見、要望が出されました。それらの意見に対して、総合研究所長からは、「貧困の克服は平和実現のために必要不可欠な条件。今回は『経済格差・貧困の克服』を掲げているが、宗門の課題が多岐にわたることは承知している。他の課題に取り組まないということではない」との回答がありました。重点プロジェクト推進室部長からは、「来年度から二年の推進期間においては、『貧困問題』を教区・組の実践目標に設定して取り組んでいただきたい。今年度中に全教区を巡回し、周知徹底をはかるとともに、教区・組に重点プロジェクトの担当者を置くことも提案したい」との回答がなされました。

今回、福岡教区より「差別問題に関する僧侶意識調査の実施を求める」意見具申が中央委員会に提出されましたが、具体的な回答はなく、ほとんど「無視」と言ってもよい対応でした。意見具申が、文字通り「意見を申し述べる」だけに終わっている現状があります。教区・組の現場からの声を無視し続ける教団中枢の姿勢が問われています。このままでは、中央と地方の運動がますます乖離していくのではないかと危惧します。

【御同朋の社会をめざす運動】教区委員会副委員長・

中央委員会委員 林史樹】

◇これからの日程（12/18～1/19）◇

12月	教区・財団行事	教化団体・組行事
18		総代会常任・幹事会
20		仏婦世界大会打合(本山)
21		門推世話役会
23		仏の子どものつどい
25		福島ボランティア活動 (～27日)
26	聖典セミナー	
27		長寿苑ビハーラ活動
28	午後から事務休業	
<p>12月28日の午後より、1月8日まで、教務所事務休業いたします。</p>		
1月		
9	教務所事務開始	コーラス(昼)
14	常例法座	
<p>1月14日～16日まで、親鸞聖人御正忌報恩講のため教務所事務休業いたします。(常例法座はございません)</p>		
18	聖典セミナー	寺女役員会
19	教区新年会	組総代会担当者会議

☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。
一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱(170袋) **8,300円**

・1組(10袋) **500円**

お申込み先は…高岡市東上関446 高岡教務所内
(寺族青年会担当)
Tel.(050)5587-7708(代表)
メール hourin18@gmail.com

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送(KNB)・73.8kHz.

◎毎週土曜日(本山制作)午前6:15～6:25
□第2・4日曜日(富山・高岡制作)午前6:00～6:10

□12/24(日):弓部裕明氏

(高岡教区氷見組明覚寺)

◎12/30(土):徂徠 真弓氏

(奈良県西光寺坊守)

「2017年を振り返って」

◎1/6(土):本多 隆朗氏

(本願寺 執行長)

「年頭の挨拶」

◎1/13(土):中川 清昭氏

(本願寺派布教使・福岡県願應寺住職)

「人は一人では生きていけない」

□1/14(日):未 定

(富山教区)

◎1/20(土):中川 清昭氏

(本願寺派布教使・福岡県願應寺住職)

「鏡に写った自分」

◎1/27(土):中川 清昭氏

(本願寺派布教使・福岡県願應寺住職)

「人と繋がりをもつこと」

【西本願寺高岡会館1月の常例法座】

ご講師: **林 要 順 氏**

(高岡教区砺波組明覚寺)

ご講題:『阿弥陀様に照らされた生活』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。